

[第 119 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和3年 10 月

NPO法人高島藤樹会



- 日 時 令和3年 11月 6日(土) 15時～17時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89)
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』第 27 章 p.365～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

10月2日(土)午後、安曇川公民館で第118回藤樹人間学塾を開きました。参加者は11人でした。

今回は『中庸解』第27章の上段です。皆で読み下し文と解釈の文章を輪読しました。そして大意を意識しました。

「聖人の道は天(大宇宙の大いなる力)と軌を一にしている。聖人はなかなか現れないが、天は聖人の現れるのを待つ

て、大いなる力を発揮する。聖人が出なければ天地の道も実現されない。」

2,500年～2,000年前に釋迦、キリスト、孔子という三大聖人が現れ、後世の精神世界にはかり知れない影響を与えました。そこで、致知2021年10月号の“天に星 地に花 人に愛”特集で横田南嶺師と鈴木秀子文学博士の対談「釈迦とキリスト」を皆で読んで、聖人の教えを学びました。

お釋迦様の悟られた境地とは「すべては移り変わり、もろくはかない中にお互いは支えあい、思い合って生かされている。自分の命は自分一人のものではない。そのことに目覚めたならば、この命を皆のために尽くそうと願い行動する。それこそが己なき者にやすらいありということである」と。

イエス・キリスト様は全人類を一つの葡萄の木にたとえて「私に留まりなさい。そうすれば私があなたたちに留まる。葡萄の枝が木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことはできない。同じようにあなたも私に留まらなければ実を結ぶことはできない。人が私に留まり、私もその人に留まっているならば、その人は多くの実を結ぶ」と。

三大聖人をはじめ多くの聖人が現れなかったら、人類は、愛や慈悲、仁(思いやり)などの優しい心の大切さを知ることなく、戦争に明け暮れてとっくの昔に消滅していたことでしょう。今、こうして聖人の尊い教えを学ぶことができるのは有難いことです。お互いに一歩ずつ実践していきましょう、と述べました。

参加者からは「教えを体認するためには、行動が重要だと改めて思った。行動のためには、まずはこの塾に参加することは大きな意義があると思った」、「“天に星 地に花 人に愛”とても素敵な言葉を教えていただき感謝します」等の意見、感想をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。